

第 69 回横須賀市文化振興審議会 議事概要

日 時 令和元年 10 月 28 日(月)10:00～11:20

場 所 横須賀市役所本庁舎 3 階会議室 A

出席者：秋岡委員、石川委員、崎山委員、蛭田委員、藤井委員、西堀委員、
吉田（彩）委員、吉田（秀）委員、若江委員

傍聴者：なし

事務局：文化振興課 佐々木課長、松田課長補佐、宇野主任

-
- ・事務局より、傍聴者なしとの報告があった。
 - ・事務局より、定足数についての報告があり、委員定数 10 名のうち 9 名が出席しており、過半数を満たしているため、本審議会が有効に成立している旨の報告があった。
 - ・規定により、吉田委員長を議長とし、次第に沿って進行。

【審議事項】

次第 1 平成 30 年度文化振興基本計画の進捗状況について

事務局から資料 1 により説明を行った。

○質疑応答

委 員 ルートミュージアムのネーミングについては、前回の審議会の際に和製英語だとしたら、こういうところに使うのはふさわしくないのではないかと指摘をし、その時はまだ流動的であるとのことだったので、その後を気にしていたが、これを見るとすでに歩き出してしまっている。その後、名称については検討したのか。

事 務 局 前回の意見を踏まえ、内部で議論をしたが、事業としては、ルートミュージアム事業という名称を使用して進めている。行政が事業として進めていく中では、分かりやすい言葉なので継続している。今後具体的な動きをする中で、市民に対して知らせていく際に、この事業名は使われなくなると考えている。この事業では、近代歴史遺産をつなげていくツアーを周知していくので、「ルートミュージアム」という言葉は使われなくなる可能性がある。

- 委員 市民に対して目に触れないかもしれないが、全体の構想として残るのがよくない。大元を正していくのが良い。文章や言葉の使い方は正確で分かりやすい方が良い。
自分と発案者の感覚が違うのだろうが、好ましいことではない。名称は具体的に資料として出ているのか。
- 事務局 平成 30 年の議会に報告し、意見をいただいている。
- 委員 他では周遊や回遊という言葉聞くが、それではいけないのか。
- 事務局 行政の中では、すでに事業名として使われていて、議会でも共通認識されている。
- 委員 広報よこすか 10 月号には、ルートミュージアムと掲載されていた。
- 委員 市民委員の私にはルートミュージアムという言葉は分かりやすいと思っている。
- 委員 分かりやすさも大事だが、正しさも大事である。
- 委員 ルートミュージアムという言葉はあまり市民に定着しないのではないかと懸念している。なかなか普段からこの言葉は出てこない。
- 委員 一般の人が分かる表現が望ましい。
横須賀製鉄所も「開設」としていたが、鍬入れ式をやっただけなので、正確には直した方がいい。
- 委員 インターネットでルートミュージアムを検索すると横須賀市関連のかなりの項目が出てくる。この言葉はインターネット上ではすでに存在しているので、将来的に使わなくなるのであれば、早めに言い換えた方が混乱しないのではないか。インターネット上に一度出てしまったものを消すことは難しい。
- 委員 ルートミュージアムの検討を 4 年間やっていて、市民には広報されていない。
- 事務局 情報発信をしっかりとしていく。
- 委員 市民への説明会やパブリック・コメントをした方が良かった。

- 委員 このネーミングが、どのような経緯で、どの会議、どの部局、いつの議会で決定されたのか、明らかにし、記録しておく必要がある。将来、市民の方から疑義を呈された時に、いつの間にか決まったとか責任の所在が不明では困りますから。事業名の決定権は誰になるのか。
- 事務局 事業名を変えらるとなると市長になると思われる。
- 委員 この問題は引き続き、検討してほしい。
- 委員 文化振興基本計画の27ページ3(2)にある多文化共生社会に
適応できる国際教育について、防衛大学校にフランス語の良い先生がいる。
- 事務局 エコールポリテクニクと横須賀総合高校との交流もあるので参考にしたい。
- 委員 8年間の計画として進捗状況を報告していく中で、人口減に対応するためにも、何かひきつける要素が入ってくる必要がある。「Yokosuka Art & Music Festival」のパンフレットは良いと思う。
- 委員 計画は平成24年が基準になっている。6、7年も前であり、24年の状況と今は変わっている。
- 事務局 以前の計画は、目標が毎年前年比プラス3～5%させるという現実的でないものであったため、今期の計画は現在の基準の年度を設けて、その方向性を示す形とした経緯となっている。
- 委員 基準値をどこにするかがテーマになってくる。進行管理をする上でどうなのか。
- 委員 計画を市民に知らせるのが大事である。
人口が減少していく中で、いかに移住してもらうかを入れると良い。
横須賀では戦前・戦後の古くなった建物が老朽化の時期にきて、壊れてしまっている、もしくは壊されようとしている。安全性の面もあるかもしれないが、昔の建物の保存については、どのようにしていくのか。
- 事務局 市民への周知は今後も検討していく。
近代に建てられた旧軍施設を中心とした建物等は、現在民間に払い下げられており、管理は民間企業等でされているため、そ

の保存は民間が中心となっていて行っているが、保存等については、引き続き所有者等へ働きかけを行っていく。

委員 計画は、以前より見やすくシンプルになった。各事業の評価がほとんどAになっている。Aというと良い印象だが、その先の問題点が感じられない。Aをつける以前に、問題点をどこかに入れるべきである。このままだと、同様な企画を平面的に続けるだけになってしまう。

事務局 問題点を入れるとすると、特記事項の欄になると思う。

委員 地域で開催されたイベントについて、学生と一緒に参加者へインタビューした際、「ただ参加しているだけ」と話していたなど、あまりやる気が感じられないイベントもあった。
何にしても、毎回課題はあると思うので、明記しておくが良い。

委員 「Yokosuka Art & Music Festival」のパンフレットをフランス大使館の文化部に送ってほしい。能に興味を持っている人がいる。英語で書く配慮も必要である。

委員 「進行管理表による進捗状況の確認」と「指標による進捗状況の確認」の関連性・整合性がわかりにくい。多くの場合は進行管理表で抽出された事業（あるいはその中からさらに抽出された事業）に対して指標を示しているが、ときには管理進行表の複数の事業をひとまとめにして指標を示すこともある。まとめの指標なのか単独の事業に対応した指標なのかがわかりにくい。さらには、単独の事業にたいする指標と思われるのに進行管理票には無い取り組み内容（表現）が入っているものがある。具体的には進行管理表 20 ページでは「障害者を対象としたワークショップなどの開催」となっているものが、指標 61 ページでは「障害者や高齢者を対象としたワークショップ」となっている。対象事業は障害者の文化活動支援（I-1-(4)）の中にあるものなので、指標で高齢者が入っているのは間違いかと思われるが、「高齢者」を入れる特段の理由があるのだろうか。

事務局 入っていない理由は美術館運営課から確認していない。

委員 「障害者・高齢者を対象とした美術館ワークショップ」として高齢者対象にこれまでどんなことが行われてきたのか、またこれから何をしようとしているのか説明できるのだろうか。

委員 「Yokosuka Art & Music Festival」のパンフレットは問い合わせ先の文字が小さくて不親切だと思う。作成するとき他都市

を参考にしたのか。

計画の 56 ページのメディアによる情報提供は良い。発信するだけでなく、体験にも力を入れてみてはどうか。

事務局 パンフレットを作成した企画課に伝える。

委員 パンフレットはどこで何をやっているのかが分かって良いと思うが、市民として初めて目にした。町内会等で配布しないのか。

事務局 駅や行政センターでは配布したが、現状、町内会での配布はできないため行わなかった。

委員 市のホームページには掲載しているのか。

事務局 市のホームページには掲載していないが、この取り組みの中にある街なかミュージックは、市と別のホームページを持っているので、そこにはイベントを紹介している。

委員 もったいないので、パンフレットを PDF にしてそのまま掲載すると良い。

海外の旅行者は日本に来る際に自治体のホームページを見ると聞いている。

【審議事項】

次第 2 その他について

委員 ヴェルニー公園に建設予定の案件は、進捗状況はどうか。昨年度の審議会では報告があったが、それから何か進んでいるのか。

事務局 来年度の後半に、ティボディエ邸の部材を活用し、ガイドダンスセンターを開館予定である。昨年度報告した案件から新しいものはあまりない。

事務局 後日、ルートミュージアム計画書を委員あてに送付する。

委員 やはりルートミュージアムという言葉で進んでしまっていると思われるが審議員の意見も取り入れて、より適確なものがあれば検討すべきと考える。

委員 ルートミュージアム、アートミュージアムという言葉を使っているが、ミュージアムは「博物館」という意味を持つのに、安易につけている印象がある。造語として使用するなら固有名詞的な扱いにするべき。ミュージアムという言葉の意味を吟味してから使用しているのか。

検討して、きちんとした言葉を使うのが大事である。事業名としてあげるにしても、裏付けが必要。もし使うなら、「」付けをして固有名詞のようにして使うのが良いのではないか。